



今年も看護師国家試験に 全員合格!!



合格おめでとう!!

3月25日、第104回看護師国家試験の合格発表があり、姫路赤十字看護専門学校の平成26年度卒業生41人全員が合格しました。

学生たちは、3年間真摯に学び、試験日ぎりぎりまで実習や特別講義などに一生懸命取り組みながら、試験対策の勉強を必死でしたものの、合格の知らせを受け取るまでは落ち着かない日々を過ごしていました。

そして迎えた発表の瞬間!学校中に響き渡るほどの歓声が上がりました。

また、合格祈願のため、試験前に思い思いの趣向を凝らし片目を入れていた「だるま」にも無事に両目が入りました。

今後は、看護師として働く人、進学する人などそれぞれの道に進みます。持ち前の明るさを生かして、ますます活躍してくれることを期待しています。

講習のご案内

お問い合わせは、
お電話またはホームページで



078-241-1499 (講習係)

救急法基礎講習(1日受講)	6/13④、7/25④ 13:00~17:30
救急法救急員養成講習(2日間受講)	6/27④・28④ 9:30~17:30
救急法基礎・救急員養成講習(3日間受講)	6/14④・20④・21④ 9:30~17:30(初日は13:00~) 7/18④・19④・20④
水上安全法(プール講習・4日間受講)	7/19④・20④・8/1④・2④ 9:00~17:00(最終日は~14:00まで)
雪上安全法救助員I養成講習(1日受講)	7/12④、16④ 9:00~17:30

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。	
健康生活支援講習	災害時高齢者生活支援講習(災害が起こった時、支援できること) 6/6④ 10:00~12:00
幼児安全法講習	乳幼児の災害支援 6/7④ 10:00~12:00
救急法講習	AEDを使用した一次救命処置 7/26④ 10:00~12:00
救急法講習	きずの手当 7/26④ 13:00~15:00
健康生活支援講習	高齢者に起こりやす事故の予防と手当、急病への対応 7/12④ 10:00~12:00
健康生活支援講習	リラクゼーション・癒しのハンドケア 7/12④ 13:00~15:00

◇申込期日は開催日(初日)の一カ月前までです。 ◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。



救急法ミニ講習会イベント開催のご案内

日時/5月9日(土)11:00~16:00

場所/イオン明石ショッピングセンター2番街 1階「海の広場」

費用/無料

どなたでもご参加いただけます。たくさんのご参加をお待ちしています。

ひょうご 赤十字

2015 May 5月



5月は赤十字運動月間
活動資金にご協力をお願いします

- 航空機事故に備えて
- 太子町赤十字奉仕団が見学
- ラオスの血液事業を支援
- 今年も看護師国家試験に全員合格!!
- 講習のご案内
- 救急法ミニ講習会イベント開催のご案内

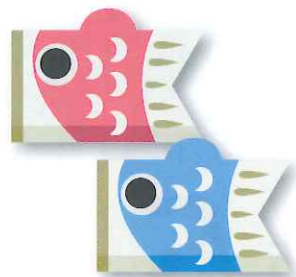


日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号

078-241-9889

赤十字 兵庫 検索



5月は赤十字運動月間 活動資金にご協力をお願いします

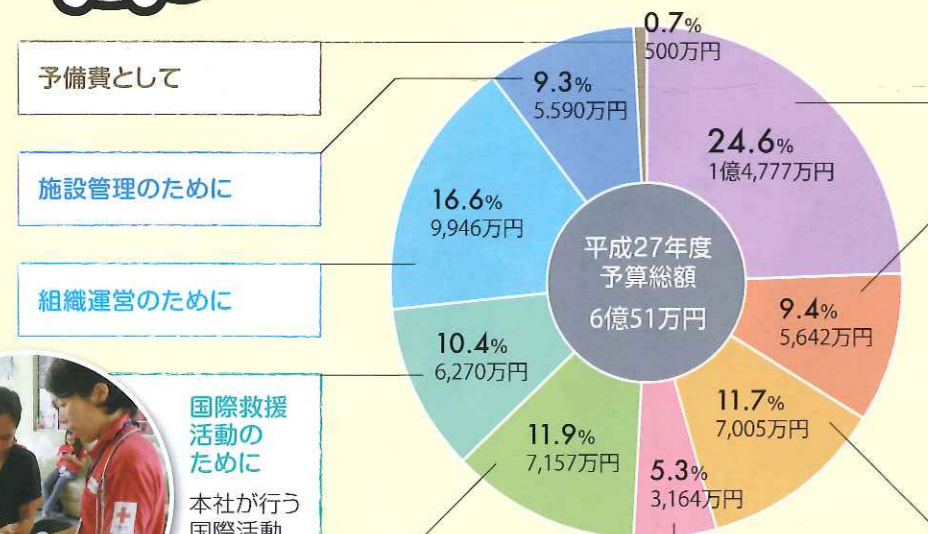
日本赤十字では、5月を「赤十字運動月間」として、広く皆さまに赤十字活動への参加と、活動資金へのご協力を呼びかけています。

阪神・淡路大震災から20年。
日本赤十字社では、震災の経験と教訓をふまえ、災害に備える、経験と教訓を伝える。そして防災・減災に生かす活動に取り組んでいます。
阪神・淡路大震災では、発災直後からいち早く被災者の救護を開始。さらには救援物資の配付や義援金の募集など、多くのボランティアと力を合わせ、未曾有の災害に向き合いました。
その経験は、その後の災害に、そして今なお続く東日本大震災の被災地での支援活動にも生かしています。

また、警察施設などへの救急箱やAED(自動体外式除細動器)の設置、救急法などの講習会の開催などを通じて、地域の皆さまの安全安心のための活動にも取り組んでいます。
これらのおちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金によって成り立っています。
運動月間中は、皆さまの地域の赤十字奉仕団や自治会、婦人会などを通じて、活動資金へのご協力をお願いします。



お寄せいただいた活動資金は、 カタチを変えて皆さまのところにへ (活動資金の使いみち)



国内外の被災者救援、災害に備えた救護体制の充実強化のために
防災訓練などへの参加、災害救急車両の更新・配備など

安全安心な暮らしのために
救急法などの講習会の開催、救急医療体制充実のための医療機器整備など

赤十字活動への理解と資金協力をお願いするために
各地域での活動資金募集のための資材の作成など

赤十字活動の普及啓発や活動報告のために
メディアや広報紙などによる広報活動、支部創立125周年記念事業など

赤十字奉仕団活動の活性化や青少年赤十字活動の充実のために
各地域での赤十字活動の推進、奉仕団活動の活性化など



航空機事故に備えて

～神戸空港航空機事故消火救難総合訓練に参加～

3月18日、神戸空港において自衛隊や警察、消防など43機関、約200人が参加し、航空機事故発生時の情報伝達をはじめ人命救助、救急医療活動を関係機関と連携を図りながら迅速に行うための訓練が行われ、兵庫県支部も神戸赤十字病院、兵庫県災害医療センターとともに参加しました。

訓練は、着陸後の小型ジェット機のエンジン付近から出火炎上し機体が破損、多数の負傷者が発生しているとの想定で始まり、消火活動や負傷者の救出、治療の優先度を定めるトリアージや救護所での応急処置、ドクターヘリによる重傷者の搬送などが行われました。兵庫県支部と神戸赤十字病院は、現地合同調整所とトリアージエリア、救護所などで情報の収集や伝達を担当。訓練後には、さらなる連携強化のために、反省点や改善点なども話し合われました。



各エリアから収集した情報を確認する支部職員



太子町赤十字奉仕団が見学

3月26日、平成26年3月に再結成された太子町赤十字奉仕団と同町分区担当の方々14人が見学に来られました。

最初に平成26年の活動報告映像をご覧いただいた後、兵庫県赤十字血液センターで、献血いただいた血液が輸血用血液製剤になるまでの過程や厳重な温度管理のもと保管されている血液製剤保管庫を見学。「期限が切れた血液製剤はどうなるの?」「血小板製剤は搬送時にも振とうしているの?」など多くの質問をいただきました。

また、緊急セットなどが備蓄された救援物資倉庫では、兵庫県支部の災害に対する取り組みをご覧いただきました。多くの方々のご支援が、安全安心のための活動につながっているところを間近でご覧いただき、赤十字活動への理解をさらに深めていただく機会となりました。



輸血用血液製剤の保管方法などの説明を受ける皆さん



ラオスの血液事業を支援

坊池義浩学術課長(兵庫県赤十字血液センター)からの報告
～2月16日から26日まで派遣～

日本赤十字社は、平成24年度からラオスの血液事業における輸血用血液製剤の安全性の向上と品質保証などを目的に技術支援を行っています。今回、私は3回目の派遣で、6年間の支援における中間評価を行ってきました。

国内の血液センターから責任者と技術担当者約60人を集め、採血、検査、製造・供給部門の基準書や標準作業手順書、教材などを用いた教育訓練が開催されました。基準書などの完成や教育訓練における熱心な受講姿勢や積極的な質問を通じて、これまで行ってきた支援の成果を確認することができました。今後、ラオス赤十字社が、自立のおよび持続的に手順書に基づく血液事業を展開できるよう、支援を継続したいと考えています。



検査の作業手順を評価中の坊池学術課長(写真右)